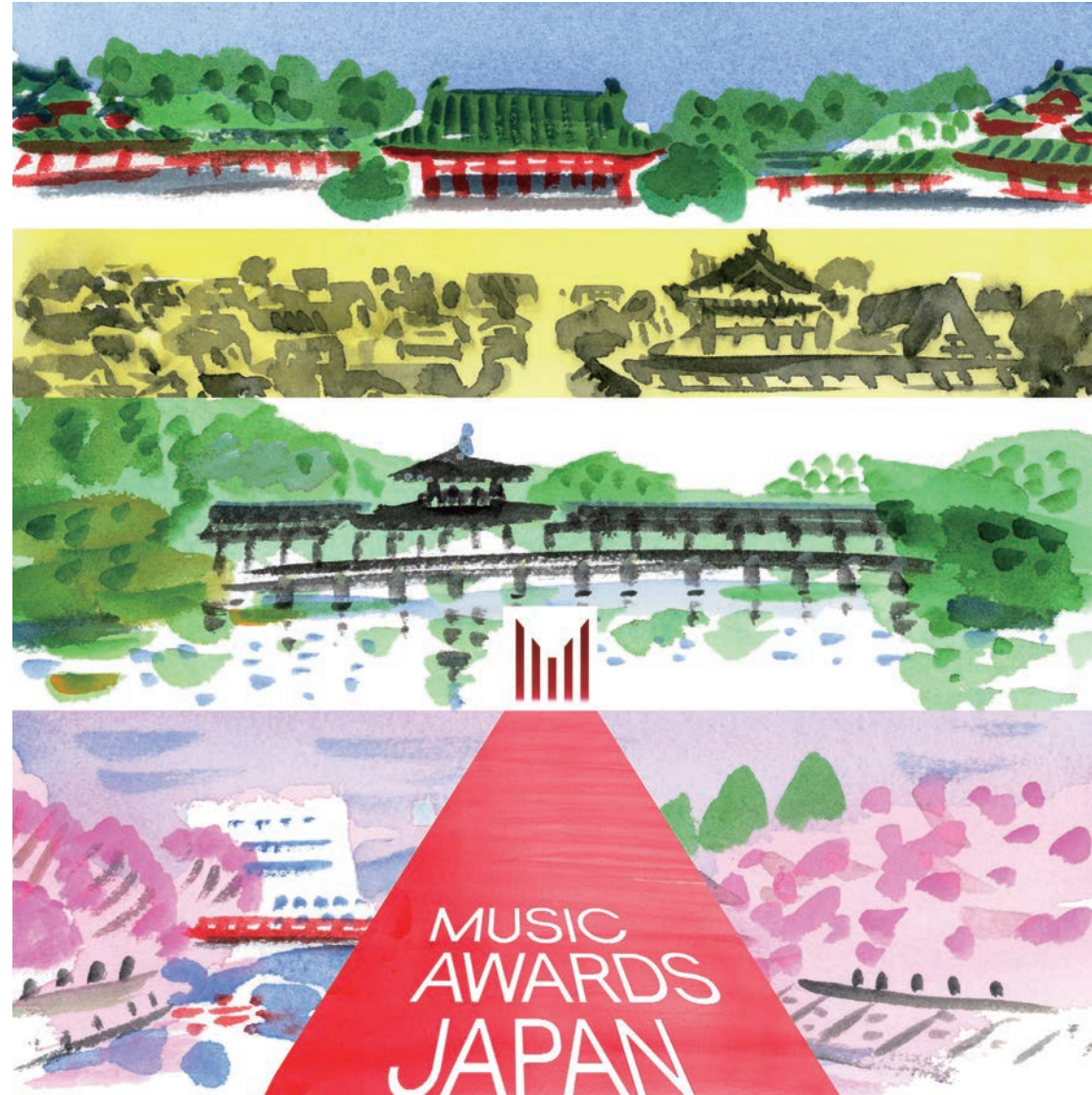


一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会

A.C.P.C. **navi** ©2025 A.C.P.C.

All Japan Concert & Live Entertainment Promoters Conference

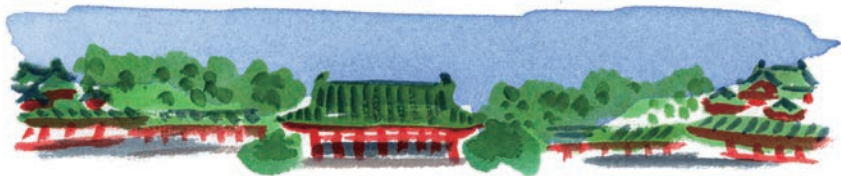
SPRING 2025 VOL.55



A.C.P.C.

MUSIC AWARDS JAPAN 開催直前号

中西健夫 ACPC会長 連載対談 第39回ゲスト 依田巽 カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会会長



表紙の言葉

今号の表紙では、MUSIC AWARDS JAPANの開催地が京都であることに着目してみました。

古都・京都は海外から訪れる方からも不動の人気を誇る、国内屈指の観光地であり、何より歴史が刻まれた名所旧跡が数多く存在します。会場であるロームシアター京都の近隣にも、平安神宮とその三方に位置する平安神宮神苑、岡崎神社、岡崎公園、満願寺など、豊かな緑と美しい桜、古社寺が折り重なる名所があります。インスタ映えする派手な絶景とはまた違う、神聖で、深みのある景観。そして、この街を散策する時の、心が洗われるような思い。小池アミゴさんが描いてくださったイラストには、京都の素晴らしさの一端が表現されています。

MUSIC AWARDS JAPANは日本の音楽産業の未来を見据えて、海外に発信する国際音楽賞ですが、日本の歴史が集約された京都という街で、未来への第一歩を踏み出す意義を、このイラストから少しでも感じ取っていただければと思います。



イラストレーション：小池アミゴ



4 VOL.55 刊行のご挨拶 中西健夫 ACPC 会長

5 中西健夫会長連載対談

第39回ゲスト＝依田巽 (カルチャーアンドエンタテインメント産業振興会会長／
ティーワイ リミテッド代表取締役会長／ギャガ代表取締役社長 CEO)

10 世界へ発信する国内最大規模の国際音楽賞 MUSIC AWARDS JAPAN がいよいよ開催

15 ACPCの本が2冊刊行

『興行の風景～日本芸能史外伝』『ACPC オフィシャル 日本コンサート・ヒストリー』

16 連載 伊神が行く! HOMETOWN ENT.NIGHT&DAY

伊神悟 ACPC 副会長 第4回＝関東

古淵雄也 (エイベックス・ライヴ・クリエイティヴ) × 岡崎菜緒子 (エル・ディー・アンド・ケイ) ×
寺腰剛志 (キョードー東京) × 土田洋彰 (キョードーファクトリー) × 粕谷奨 (キョードー横浜) ×
根津慧人 (サンライズプロモーション東京) × 阿部海月 (スマッシュ) × 佐々木捺緒 (ソーゴ東京) ×
高崎章徳 (ディスクガレージ) × 小倉啓輔 (テレビ朝日) × 若園治憲 (ハンズオン・エンタテインメント) ×
高橋裕太郎 (バンダイナムコミュージックライブ) × 中島翔太 (文化放送開発センター) ×
津山一貴 (ホッスタッフ・プロモーション) × 道端志帆 (モストプランニング) × 水村真菜 (LuckyFM 茨城放送)

24 オンライン座談会 デスク業務担当者座談会

門目彩香 (エドワードライヴエンターテインメント) × 山口麻衣 (キャピタルヴァレージ) ×
渡邊晶子 (クリエイティブマンプロダクション) × 土佐麻由子 (デューク)

29 連載コラム「帰ってきた TALKING BLUES」

鏡 孝彦 (ACPC 専務理事)

30 ECSA Lounge

33 ACPC 基礎調査、2024 年集計結果報告

34 navi ARENA



日頃より本会の活動にご理解とお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

いよいよ MUSIC AWARDS JAPAN の開催が目前となりました。5月21日(水)、22日(木)に京都ロームシアターで授賞式が開催されます。この号ではアワードを主催するCEIPAの依田巽会長と対談させていただきました。依田会長が仰ったとおり、音楽をはじめとする日本のポップカルチャーの時代が来ており、世界的にその魅力が広く伝わるようになったタイミングで、日本の音楽文化を世界に発信する国際音楽賞として MUSIC AWARDS JAPAN が創設されたことに、時代の大きな流れを感じます。ずっと以前からこのようなアワードを構想していましたが、ようやくここまで来たという思いよりも、ここからが日本の音楽文化の新たなスタートになることを強く感じています。ぜひ授賞式もご覧になって下さい。

2024年のACPC基礎調査では、およそ6000万人の動員と6000億円を超える市場規模が、いずれも過去最大となりました。これは会員社の皆様が日々開催する公演や、販売する1枚1枚のチケットの積み重ね以外の何物でもありません。ライブの時代と言われるようになって久しいですが、その時代を作っているのは皆様です。この号でも在京プロモーター、そして各社のデスク担当の方々にお話を伺っています。エリアや職種を問わず、様々な課題やテーマを共有し、連携することで対策や解決法を見出し、新たな時代に向けての歩みを進めていきましょう。

2020年発行のACPC navi45号で対談をさせていただきました、大宮エリー様のご逝去の報に接し、心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
会長 中西健夫

日本のポップカルチャーの時代が来ている—
それを示すのが MUSIC AWARDS JAPAN です



依田巽
Tatsumi (Tom) Yoda
一般社団法人カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会会長
株式会社ティールイミテッド代表取締役会長
ギヤガ株式会社代表取締役社長 CEO

中西健夫
Takao Nakanishi
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会会長
株式会社ディスクガレージ取締役会長



大型コンサートができて、多様性もある「コンサート特区」が必要です。

依田 巽

カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会会長

いち早く音楽と映像の融合を目指し、日本のコンテンツを世界に届けることを視野に入れながら、海外とのビジネスを長年続けてきた人物。カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会(CEIPA)の会長には、依田巽さんこそがまさに適任だったと言えるでしょう。MUSIC AWARDS JAPAN の開催を目前に控え、CEIPA では副理事長を務める中西健夫 ACPC 会長と依田会長が、なぜ今、音楽5団体が国と日本のトップ企業とともに MUSIC AWARDS JAPAN を開催するのか、さらにはアワードを起点に見えてくるコンサートビジネスの未来を語り合いました。

「日本の時代」を示した matsuri

中西 依田さんのお名前は、もちろん長年存じ上げていましたが、お会いするようになったのは7~8年前、ポニーキャニオンの吉村(隆)さん、ネルケプランニングの松田(誠)さんとともに食事をご一緒してからでした。それにしても依田さんは、本当に幅広い顔ぶれの方々と交流がありますよね。

依田 長く生きていくと自然とお会いする方が増えていきますから。音楽業界がベースになって、映画やお芝居、アニメや放送関係の皆さん、とお付き合いが広がっていったのだと思います。要するに野次馬根

性があるというだけです(笑)。

中西 色々なジャンルに興味を持つ、好奇心という意味では、僕も近いところがあると思います。それでも海外への交流の広がりでは、とても追いつけません。外国には今も頻繁に行ってらっしゃいますよね。

依田 これはまあ、62年間、海外とのビジネスをやっていますので。

中西 MUSIC AWARDS JAPAN を控えて、CEIPA がロサンゼルスで開催した matsuri (matsuri '25: Japanese Music Experience LOS ANGELES. Ado、新しい学校のリーダーズ、YOASOBI が出演。2025年3月16日/Peacock Theater)は、ご覧になっていかがでしたか。

依田 出演したアーティストは、3組とも堂々たるステージでした。MC も英語でこなしていましたし。私は今まさに、日本の時代が来ていると思っています。今回の matsuri でも、日本のポップカルチャーがアメリカで、あるいは広く世界で、確実に根を下ろしつつあると感じましたね。

中西 特にコロナ禍の後、急激に J-POP が世界に浸透している感があります。

依田 世界進出に関しては K-POP が先行しましたが、今、私たちが目に見ている海外で売れている日本のアーティストたちも、ステージでのエンターテイナーとして



6000億円を超えたコンサートの市場規模をさらに成長させたいんです。

中西 健夫

コンサートプロモーターズ協会会長

の要素がより強く出ており、存在感を高めていると思います。

中西 確かにライブができる、ライブに強いところが日本のアーティストの強みですね。

依田 とにかくお客様を必ず楽しませるというステージを展開していました。新しい学校のリーダーズは素晴らしいエンターテイナーぶりを発揮していましたね。

中西 本当にいつ観ても楽しいステージです。

依田 Ado さんのライブは、シルエット姿の Ado さんとファンとのコミュニケーションがしっかりと取れており、会場の熱狂的な反応に驚かされました。また YOASOBI も音楽性とエンタテインメント性を兼ね備えていると感じました。日本の漫画やアニメをきっかけに、他ジャンルの日本のカルチャーも受け入れられてきているわけですが、その効果からか、現地のファンも日本語の歌詞をそのまま歌っていましたね。

中西 日本最大のコンテンツであるアニメの効果は絶大です。

依田 本当にそうですね。

ベストなタイミングでの開催

依田 MUSIC AWARDS JAPAN を今年の5月に開催するのは、ベストなタイミングではないでしょうか。1998年、当時の韓国のキム・デジュン大統領が「1台の車

を売るよりも、1本の映画を売ろう」と、国を挙げて文化産業振興を推し進め、韓流が生まれました。韓国の SM エンタテインメント創業者のイ・スマンさんと私はすごく仲がよくて、当時、彼と話していたのは「ペセト」というキーワードでした。つまり「北京・ソウル・東京」です。この3エリアへの進出を日本のエイバックスと一緒にやりたいと言っていました。北京は韓国から進出するから、香港はエイバックスをお願いします。北と南から進出して、共に中国を目指しましょう。ソウルと東京はイコールパートナーで、アーティストも相互にデビューさせましょう、とスタートしたプロジェクトが BoA です。その先にアメリカ進出がありました。

中西 日本でも大成功しました。

依田 私の中ではこのプロジェクトが大きなエポックメイキングだったのですが、それから時を経て、今、日本が世界を目指すのならば、国の協力のもと、音楽業界が力を合わせて CEIPA を立ち上げ、MUSIC AWARDS JAPAN から始めるのが一番いいやり方だと思っています。独自の進化を遂げてきた日本の音楽文化を、世界に伝えるためには大きなイベントが必要なのですよ。

中西 不思議なことに、僕らが MUSIC AWARDS JAPAN の開催を目指して

動き始めていると、真田広之さんが主演・プロデュースを務めたドラマシリーズ『SHOGUN 将軍』がアメリカで大ヒットして、ゴールデングローブ賞(4部門)やエミー賞(史上最多の18部門)を受賞するというニュースが飛び込んできました。

依田 そう、タイミングがいいですよ。日本の時代が来ています。

中西 しかも、台詞のほとんどが日本語の作品にもかかわらず。

依田 コロナ期の配信の進化で、字幕付きの映像を視聴することがアメリカの視聴者にも浸透してきたところだったので、『SHOGUN 将軍』も受け入れられやすかったという側面もあったと思います。だから本当にタイミングは大事なのですよ。

さらに市場を拡大するために

依田 これは私が30年前から言っていることですが、今後は音楽と映像の融合がより進んでいくと思います。アニメと音楽もそうですし、さらに様々な要素が入ってくると、コンテンツは無国籍化していきますよね。現在のJ-POPにもそういう傾向は出てきているでしょう。ただ、映画制作・配給の立場からすると、邦画をどうやって海外に展開していくかという点については、まだハードルは高いと思っています。トータルで日本ブランドが認められる、そういう土壌をつくることから始めなくてはいいと考えています。

中西 韓国のドラマが色々な国で放送された時、登場人物がヒュンダイの車に乗って、サムソンのテレビを観ているシーンも含まれているわけです。そこにサウンドトラックも付いている。やはり国家プロジェクトですから、ちゃんと考えられているんですよ。

そういう意味では、MUSIC AWARDS JAPAN をトヨタがスポンサーしてくださることは、本当に大事な第一歩だと思います。

依田 素晴らしいことですよ。

中西 僕らも一步一步、民間の力でやってきたわけですが、やはり日本の経済界全体、そして国の力も必要になってくると思いますし、野球やサッカー、バスケットボールなどスポーツ界からさらに国際的な大スターが登場することで、より大きな相乗効果が生まれるといいですね。

依田 CDなどのパッケージに代わって配信が主流になってきて、1曲あたりの単価が下がり、経済的に成り立たせるためには、よりコンサートが重要になってきたわけですよ。そんな時にチケットの高額転売が問題になりましたが、中西さんをはじめ皆さんの力で対策を講じて、チケット収入を伸ばしてきたわけです。さらにはグッズ。アーティストの肖像権をマネタイズする仕組みも進化してきました。コンサートはまさに「コト」の消費になり、モノを売る時代からコトを売る、イベントや体験を売る時代に軸足が移ってきたのだと思います。

中西 我々ACPCの基礎調査だと昨年のコンサートの市場規模は6000億円を超えたんですよ。

依田 それは大変な数字ですね。せっかくそこまで成長しているのに、コンサート産業は会場の数とキャパシティの上限があるから、これ以上成長させるには難しい面もあります。

中西 そうなんです。僕らはさらなる成長を目指したいのですが、人手不足で日々のステージの設営が難しくなっているとか、様々な問題も起きています。

依田 コンサートのインフラ整備は国を挙げてやらなきゃいけない問題ですよ。映画のロケをしていると、もともと米軍基地関連の土地だったところが、国の所有地になっているなど、東京の郊外などに驚くほど広大な土地があったりします。民間ではとても手が出せないと思いますが、国レベルではまだまだ東京の西側にコンサート会場を建設できる場所があるような気がします。

中西 新しい会場を建てる時は、その会場を中心に一つの街をつくるような発想が必要だと思うんです。欧米では例えばサッカー場をつくる時に、必ず彼らが言うのは「ノン・フットボール・スタジアム」というキーワードです。フットボール・スタジアムをつくるんじゃないんだと。そこに街をつくるんだということです。だから発展するんですよ。日本はポツンと一軒家システムなんですよ。遠いところに土地が空いているから、ここを使いなさいと。人を集めるまでの構想がないんです。これは本当に何年も言い続けていることなんです……。最近では、Bリーグのおかげもあり、理解して頂ける方も増え少しは、未来が明るくなってきた気がします。

依田 1980年代の終わりに、日本でもコンサートビジネス、コンベンションビジネスの新しいモデルが生まれるのではないかと言われていた時代がありました。欧米では、第二次世界大戦後からドイツ、フランスにコンベンションタウンが誕生し、1960年代のパリ近郊にはラ・デファンスというコンベンション地区が生まれました。さらにロスやニューヨーク、テキサスにも、いわゆるコンベンションタウンができ、街として発展していったのです。日本でも大型のコン

サートが開催できて、多様性もある「コンサート特区」が必要だと思います。今はまさにそういう時代になりましたね。



PROFILE

依田 巽

よだ・たつみ

1940年生まれ。現 長田電機工業、山水電気を経て、88年、トーマス・ヨダ・リミテッド(現 ティーワイ リミテッド)を設立、代表取締役に就任し、2005年より代表取締役会長(現職)。1988年、現 エイベックス顧問就任。93年、同社代表取締役会長に就任し、95年から2004年まで代表取締役会長兼社長を務める。05年、ドリーミュージック代表取締役会長に就任し、17年からは同社取締役最高顧問、さらに21年よりフェイスレーベル統括最高顧問も務める。映画業界においては、1999年、現 ギャガ取締役に就任し、2004年に代表取締役会長、20年に代表取締役社長CEO就任(現職)。ほかにも、ティ・ジョイ取締役、ティーワイ エンタテインメント代表取締役会長などを務める。また、CEIPA 会長をはじめ、日本経済団体連合会 幹事、Japan 国際コンテンツフェスティバル実行委員会副委員長、日本レコード協会顧問、ユニジャパン理事、日本映像ソフト協会理事、映像産業振興機構幹事理事、外国映画輸入配給協会常務理事、日中協会副会長、米国・映画芸術科学アカデミー会員など社外役職・団体役員も多数務める。受賞歴は藤本賞ほか、国内にとどまらず、フランス芸術文化勲章(オフィシエ)及びレジオン・ドヌール勲章(オフィシエ)、アメリカ映画協会(MPAA)日本の映画産業界に対する貢献を称える特別賞など海外での受賞も多い。

※本誌に掲載された座談会はダイジェスト版です。完全版はACPCホームページをご覧ください。



世界へ発信する 国内最大規模の国際音楽賞



MUSIC AWARDS JAPANがいよいよ開催

日本レコード協会、日本音楽事業者協会、日本音楽制作者連盟、日本音楽出版協会。コンサートプロモーターズ協会が設立したカルチャーアンドエンタテインメント産業振興会(CEIPA)による「MUSIC AWARDS JAPAN」の授賞式が5月21日(水)・22日(木)にロームシアター京都に

て開催されます。5月22日(木)の授賞式はNHKにて生中継、2日間の授賞式の様子はグローバルストリーミングパートナーのYouTubeにて全世界配信をいたします(※一部地域を除く)。今号では開催直前特集として、改めてアワードの全体像と直前情報をお伝えします。

MUSIC AWARDS JAPANについて

「世界とつながり、音楽の未来を灯す(ともす)。」をコンセプトとした国内最大規模の国際音楽賞です。主要6部門をはじめ、全62部門に渡る約3,000作品のエントリーから、コンサートプロモーター、アーティスト、クリエイターなど、国内外の音楽関係者5,000人以上による投票に基づいて受賞作品／アーティストが決定されます。このアワードを通して、日本の音楽文化を世界に発信し、各国音楽産業と連携交流を強化するとともに、国内音楽需要をさらに高め持続的な成長を図ります。

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 開催概要

- 開催日時：2025年5月21日(水)・22日(木)
※開催ウィーク：2025年5月16日(金)～5月22日(木)
- 会場：ロームシアター京都
- 放送：NHKにて生中継 ※22日(木)のみ
- 配信：YouTube(グローバルストリーミングパートナー)にて全世界配信予定 ※一部地域を除く
Leminoにてアーカイブ配信予定
- 協力：文化庁、経済産業省
- 後援：京都府、京都市、
京都商工会議所、JETRO



◀ 公式サイト
<https://www.musicawardsjapan.com/ja/>



※画像はイメージです

授賞式放送予定

5月22日(木)の授賞式生放送は下記の予定です。

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 直前スペシャル レッドカーペットライブ
5月22日(木) 午後6時00分～7時30分(NHK BS)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 第1部
5月22日(木) 午後7時30分～8時45分(NHK 総合)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 第2部
5月22日(木) 午後10時00分～10時45分(NHK 総合)

またグローバルストリーミングパートナーのYouTubeでは5月21日(水)22日(木)の授賞式を全世界配信予定です。

表彰部門

本アワードでは最優秀楽曲賞、最優秀アーティスト賞など主要6部門をはじめ、全62部門を創設いたしました。全62部門は、24部門の楽曲カテゴリー、14部門の海外楽曲カテゴリー、3部門のアルバムカテゴリー、11部門のアーティストカテゴリー、4部門の共創カテゴリー、ライブカテゴリー1部門、ミュージックテックカテゴリー1部門、そして4部門のアライアンスカテゴリーと、バラエティーに富んだラインアップとなりました。

また3月13日には、韓国、中国など6カ国のアワードと連携した海外特別賞、ライブ動員数の多かったアーティストを讃えるラージェスト・ライブ・オーディエンス賞、音楽産業にグローバルに貢献した日本のミュージックテックを讃えるミュージックテック功労賞が追加発表されています。表彰部門一覧は以下になります。

各部門のノミネート作品／アーティストはこちらをご覧ください ▶
<https://www.musicawardsjapan.com/ja/nominees/>



部門カテゴリー

カテゴリー CATEGORY	サブカテゴリー SUB CATEGORY	部門タイトル TITLE
楽曲カテゴリー SONGS	最優秀楽曲賞 Song of the Year	
	音楽ジャンル別部門 Music Genre Category	最優秀ジャパニーズソング賞 Best Japanese Song
		最優秀国内ロック楽曲賞 Best J-Rock Song
		最優秀国内ヒップホップ/ラップ楽曲賞 Best Japanese Hip Hop/Rap Song
		最優秀国内R&B/コンテンポラリー楽曲賞 Best Japanese R&B/Contemporary Song
		最優秀国内ダンスポップ楽曲賞 Best Japanese Dance Pop Song
		最優秀国内オルタナティブ楽曲賞 Best Japanese Alternative Song
		最優秀国内シンガーソングライター楽曲賞 Best Japanese Singer-Songwriter Song
		最優秀アイドルカルチャー楽曲賞 Best Idol Culture Song
		最優秀アニメ楽曲賞 Best Anime Song
		最優秀演歌・歌謡曲楽曲賞 Best Enka/Kayōkyoku
	スペシャル部門 Special Category	最優秀リバイバル楽曲賞 Best Revival Hit Song
		最優秀クロスボーダー・コラボレーション楽曲賞 Best Cross-Border Collaboration Song
		最優秀インストゥルメンタル楽曲賞 Best Instrumental Song
		最優秀ボーカロイドカルチャー楽曲賞 Best Vocaloid Culture Song
		最優秀ミュージックビデオ賞 Best Music Video
		最優秀ダンスパフォーマンス賞 Best Dance Performance
		最優秀バイラル楽曲賞 Best Viral Song

カテゴリー CATEGORY	サブカテゴリー SUB CATEGORY	部門タイトル TITLE
楽曲カテゴリー SONGS	Top Global Hit From Japan	世界でヒットした国内楽曲を対象とした賞
	エリア別部門 Regional Category	Top Japanese Song in Asia
		Top Japanese Song in Europe
		Top Japanese Song in North America
		Top Japanese Song in Latin America
	一般投票部門 Open Voting Category	ベスト・オブ・リスナーズチョイス：国内楽曲 powered by Spotify Best of Listeners' Choice: Japanese Song powered by Spotify
海外楽曲カテゴリー INTERNATIONAL SONGS	最優秀アジア楽曲賞 Best Song Asia アジアでヒットしたアジア楽曲を対象とした賞	
	海外特別賞 International Special Award	Korean Popular Music特別賞 Special Award: Korean Popular Music
		Chinese Popular Music特別賞 Special Award: Chinese Popular Music
		Thai Popular Music特別賞 Special Award: Thai Popular Music
		Indonesian Popular Music特別賞 Special Award: Indonesian Popular Music
		Vietnamese Popular Music特別賞 Special Award: Vietnamese Popular Music
		Philippine Popular Music特別賞 Special Award: Philippine Popular Music
	海外楽曲部門 International Category	最優秀海外ポップス楽曲賞 Best International Pop Song in Japan
		最優秀海外ロック楽曲賞 Best International Rock Song in Japan
		最優秀海外ヒップホップ/ラップ楽曲賞 Best International Hip Hop/Rap Song in Japan
		最優秀海外R&B/コンテンポラリー楽曲賞 Best International R&B/Contemporary Song in Japan
		最優秀海外オルタナティブ楽曲賞 Best International Alternative Song in Japan
		最優秀K-Pop楽曲賞 Best K-Pop Song in Japan
	一般投票部門 Open Voting Category	ベスト・オブ・リスナーズチョイス：海外楽曲 powered by Spotify Best of Listeners' Choice: International Song powered by Spotify
アルバムカテゴリー ALBUMS	最優秀アルバム賞 Album of the Year	
	音楽ジャンル別部門 Music Genre Category	最優秀ジャズアルバム賞 Best Jazz Album
		最優秀クラシックアルバム賞 Best Classical Album
アーティストカテゴリー ARTISTS	最優秀アーティスト賞 Artist of the Year	
	最優秀ニュー・アーティスト賞 New Artist of the Year	
	音楽ジャンル別部門 Music Genre Category	最優秀ジャパニーズソングアーティスト賞 Best Japanese Song Artist
		最優秀国内ロックアーティスト賞 Best J-Rock Artist
		最優秀国内ヒップホップ/ラップアーティスト賞 Best Japanese Hip Hop/Rap Artist
		最優秀国内R&B/コンテンポラリーアーティスト賞 Best Japanese R&B/Contemporary Artist
		最優秀国内ダンスポップアーティスト賞 Best Japanese Dance Pop Artist
		最優秀国内オルタナティブアーティスト賞 Best Japanese Alternative Artist
		最優秀国内シンガーソングライター賞 Best Japanese Singer-Songwriter
		最優秀アイドル賞 Best Idol Artist/Group
	スペシャル部門 Special Category	MAJ Timeless Echo
共創カテゴリー PARTNERSHIP	カラオケ部門 Karaoke Category	カラオケ特別賞 カラオケ・オブ・ザ・イヤー: J-Pop powered by DAM&JOYSOUND Special Award: Karaoke of the Year: J-Pop powered by DAM&JOYSOUND
		カラオケ特別賞 カラオケ・オブ・ザ・イヤー: 演歌・歌謡曲 powered by DAM&JOYSOUND Special Award: Karaoke of the Year: Enka/Kayōkyoku powered by DAM&JOYSOUND
	有線放送部門 USEN Broadcasting Category	リクエスト特別賞 推し活リクエスト・アーティスト・オブ・ザ・イヤー powered by USEN Special Award: Oshi-Katsu Request Artist of the Year powered by USEN
ライブカテゴリー LIVE PERFORMANCE	ライブ動員部門 Largest Live Audience Category	ラーjest・ライブ・オーディエンス賞 Largest Live Audience
ミュージックテックカテゴリー MUSIC TECH	ミュージックテック部門 Music-Tech Category	ミュージックテック功労賞 Honorary Award in Music Technology
アライアンスカテゴリー ALLIANCE	他団体連携部門 Music Industry Collaboration Category	ラジオ特別賞 Best Radio-Break Song
		最優秀ダンス・エレクトロニック楽曲賞 in association with JDDA Best Dance/Electronic Song in association with JDDA
		最優秀DJ賞 in association with JDDA Best DJ in association with JDDA
		グランプリエンジニア賞 in association with PMRAJ Grand Prix Engineer in association with PMRAJ

エントリー作品のプレイリスト

3月に延べ約3,000曲のエントリー作品が発表されています。主要6部門では、最優秀楽曲賞に256曲、最優秀アーティスト賞に167アーティスト、最優秀アルバム賞に171作品、最優秀ニュー・アーティスト賞に61アーティスト、Top Global Hit from Japanに100曲、最優秀アジア楽曲賞に24曲が選ばれました。そのほかにも、全部門※でエントリー作品が発表され、延べ約3,000曲のエントリー作品が決定しました。全エントリー作品は「MUSIC AWARDS JAPAN」公式サイトにて発表しています。

今年のエントリー作品延べ約3,000曲はSpotifyにて「museum」という形でプレイリストを作成いたします。まるで“音楽の博物館”のようなプレイリストの中で、さまざまな素晴らしい音楽に出会ってほしいという願いを込めました。さらに、主要6部門をはじめとした各部門ごとのプレイリストを、dヒッツをはじめとした各音楽配信サービスにて配信を行います。いつでも「MUSIC AWARDS JAPAN」のエントリー楽曲をお楽しみいただけます。※音楽配信サービスで配信されていない一部楽曲を除きます

プレイリストを作成する音楽配信サービス

- Spotify
- d ヒッツ
- d ミュージック
- Amazon Music Unlimited
- LINE MUSIC
- Apple Music
- AWA
- KKBOX
- YouTube Music
- Rakuten Music

「museum」▶
https://spotify.link/
MUSICAWARDSJAPAN



アワード関連イベント

「MUSIC AWARDS JAPAN アワードウィーク」

5月16日(金)～22日(木)に開催される「MUSIC AWARDS JAPAN アワードウィーク」の詳細が発表されました。京都の各地でライブやシンポジウムといった音楽を発信し楽しみ尽くすイベントを開催してまいります。

■ 5月16日(金)～18日(日)
YouTube Music Weekend celebrating MUSIC AWARDS JAPAN

YouTubeは、5月16日(金)から5月18日(日)の3日間にかけて、MUSIC AWARDS JAPAN 2025の各部門にノミネートされた約30組のアーティストが撮り下ろしライブ映像やミュージックビデオなどをプレミア公開する「YouTube Music Weekend celebrating the MUSIC AWARDS JAPAN」を開催する。

■ 5月19日(月)
MUSIC AWARDS JAPAN 2025 演歌・歌謡曲 LIVE [最優秀演歌・歌謡曲 楽曲賞 授賞式]

当代きっての演歌・歌謡曲部門のトップアーティストによって珠玉の名曲を歌い継ぐライブコンサート。併せて、最優秀演歌・歌謡曲楽曲賞のノミネート作品の紹介及び最優秀賞の発表、授賞式を開催。

■ 5月20日(火)
MUSIC AWARDS JAPAN A TRIBUTE to YMO -SYMBOL of MUSIC AWARDS JAPAN 2025-

「SYMBOL OF MUSIC AWARDS JAPAN 2025」として掲げているYELLOW MAGIC ORCHESTRA(YMO)に啓発され創作活動を行うアーティストが集結し開催される一夜限りのトリビュートライブ。

■ 5月21日(水)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 Premiere Ceremony [授賞式]

約 50 の部門賞の最優秀賞授賞式。各部門の最優秀賞受賞楽曲・アーティストをライブならではのスペシャル演出にて一気に紹介。

■ 5月21日(水)

MUSIC AWARDS JAPAN SOUND SCRAMBLE supported by 京都芸術大学

京都ゆかりの邦楽アーティストに加え、海外アーティストを交えたオムニバスライブ。京都芸術大学の学生が運営に加わり、新たな時代の文化を創造する担い手の発掘に繋げる。

■ 5月21日(水)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 Gala Party

Premiere Ceremony 受賞者を主賓として、その栄誉を称え、交流を図る場として開催されるパーティー。

■ 5月21日(水)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 OFFICIAL PARTY MAJ NIGHT PULSE

MAJ 主催のオフィシャルパーティー。日本のクラブシーンを築き上げてきたレジェンドや気鋭アーティストが豪華出演！

■ 5月22日(木)

MUSIC AWARDS JAPAN 公式 YouTube カクテルパーティー

YouTube 主催の MUSIC AWARDS JAPAN 公式カクテルパーティー

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 レッドカーペットイベント

Grand Ceremony に出席するアーティストによるレッドカーペットイベント

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 Grand Ceremony [授賞式]

主要 6 部門を中心とした最優秀賞発表および授賞式。ノミネート楽曲・アーティストの紹介とともに、日本のポピュラー音楽の今を代表するアーティストが織りなすスーパー・エンタテインメント・ライブ。

【そのほか付帯イベントの詳細】

■ 5月18日(日)～21日(水)

CEIPA × TOYOTA GROUP

“MUSIC WAY PROJECT” Global Co-writing Camp -SONG BRIDGE 2025-

国内外の未来を担うアーティスト・作家・サウンドプロデューサーが一同に介し、ライティングキャンプを開催。

■ 5月22日(木)

MUSIC AWARDS JAPAN 2025 “ビジネスセミナー & シンポジウム”

《予定プログラム》

● 11:30～ Spotify セミナー「Lunch with Spotify」 ● 14:00～業界シンポジウム「音楽、感動から産業へ。」

■ 5月22日(木)

CEIPA × TOYOTA GROUP

“MUSIC WAY PROJECT” Professional Seminar

※ MUSIC AWARDS JAPAN 公式 YouTube カクテルパーティー内で開催

《予定プログラム》

● 16:45～ キーノート ● 17:00～ トークセッション

お知らせ

「歴史」を学んで「未来」を知る

興行からコンサートへの通史、ACPCの本が2冊刊行

『興行の風景～日本芸能史外伝』『ACPC オフィシャル 日本コンサート・ヒストリー』

びあ株式会社より、ACPCの本が2冊刊行されます。山本幸治 ACPC 顧問の著書『興行の風景～日本芸能史外伝』は、雅楽や田楽、能、狂言、歌舞伎、浄瑠璃、落語、浪花節といった日本の芸能の興行史を、現代のコンサートに関わる視点から再構築した一冊です。『ACPC オフィシャル 日本コンサート・ヒストリー』は、戦後のジャズの隆盛からビートルズの来日、フォークの登場、バンド・ブーム、フェスの時代へと至る歴史を、全国のコンサートプロモーターの証言から追った本です。証言者（敬称略）は登場順に、山崎芳人（キョードー東京代表取締役社長）、宮垣睦男（デューク取締役会長）、桑原宏司（サンデーフォークプロモーション相談役）、小島紳次郎（ウエス代表取締役社長）、鈴置雄三（サウンドクリエイター代表取締役会長）、北島匡（ビッグイヤーアンプズ代表取締役社長）、佐藤寿彦（ジー・アイ・ピー代表取締役社長）、比嘉瑩（ビーエムエージェンシー代表取締役社長 CEO）、永田友純（ホットスタッフ・プロモーション代表取締役会長）、市川義夫（元ディスクガレージ代表取締役社長／キャブ最高顧問）、中西健夫（ディスクガレージ取締役会長）。ACPCの歩みにも紙幅が割かれています。

『興行の風景～日本芸能史外伝』の著者、山本顧問よりメッセージが届いています。

「芸能や興行に関する様々な書籍や資料は、2006年に病で長期離脱した頃から読み始めていました。そして、ACPCにお世話になって30年以上経つと、そろそろ先も見えてきます。お世話になったACPCに何かご恩返しはできないかという自問が生まれ、“会員社の若い方々に残せるもの”という結論に至りました。そして、その結論を『興行の風景』と名づけ、自主的な研究の延長線上に結びつけ筆をとったわけです。ただ、それはあくまでもライブ・エンタテインメント ラボの研究の一つで、レポートとして提出できればという思いでした。それが、まさか書籍という形になるとは思ってもいませんでした。

私の祖父は地理、父は世界史の教師で、私は子どもの頃から日本史好き。そうした社会科一家という個人的背景も今回の文章化には反映しているのかもしれませんが。とはいえ、“あとがき”にも書いたとおり“素人の暴走”以外の何物でもありません。興味のある箇所だけでも読みいただければ、それで充分幸せです。そして、この会報の場をお借りして、一冊の著作としていただいたACPCの皆さまにあらためて感謝を申し上げます」

両冊とも正会員社・賛助会員社に送付いたしますので、ぜひ一読ください。

2025年5月16日、びあ株式会社より発売



興行の風景 ～日本芸能史外伝

本体価格：2,500円
276ページ／四六判
上製本



ACPC オフィシャル 日本コンサート・ ヒストリー

本体価格：2,000円
212ページ／A5判
びあMOOK



伊神が行く!

全国へ行く
地元で語る
Vol.4 関東編

HOMETOWN ENT. NIGHT & DAY



撮影：小山昭人 (FACE)

自身も東海地区のコンサートプロモーターである伊神悟 ACPC 副会長が、全国会員社の皆さんのもとに馳せ参じる連載「伊神が行く!」。お伺いする各エリアのライブ・エンターテインメントをともに考え、時には未来を熱く語り、時には愚痴をこぼし合いながら交流していきます。第4回のエリアは「関東」。記すまでもなく、全国の中で最も多数の会員社が加盟するエリアです。全43社の正会員社（取材日である2025年3月24日時点）となると、さすがに一堂に会することは難しいです

が、全16社（今回は1社1名限定）の皆さんに東京・恵比寿のACPC事務局にお集まりいただきました。首都・東京を含む関東地方は、政治・経済の中心ですが、地元色・地域色を掘り下げるのは難しい面があります。さらには常日頃の業務でも、自社が担当するエリアだけではなく、全国プロモーターとの連携も重要になってきます。そこで東京～関東の魅力を語り合っていただくだけではなく、伊神副会長からのいつもとは違う角度の質問にもお答えいただきました。



古淵雄也
エイベックス・ライブ・クリエイティブ
制作事業本部



寺腰剛志
キョードー東京
ライブ・エンターテインメント
事業本部／興行担当

観光、文化的体験、飲食、お土産 ……

関東のプロモーターが選ぶ、東京近郊のディープなスポット

新豊洲 teamLab Planets TOKYO

エイベックス・ライブ・クリエイティブ 古淵 「teamLab Planets TOKYO」は、没入型のエンターテインメント施設で、映像や照明、レーザーなどコンサートの演出面でも参考になると思います。温浴棟と食楽棟から成り立つ「豊洲 千客万来」も近くにあるので、エンタメ×食が楽しめるエリアです。

信濃町 民音音楽博物館

エル・ディー・アンド・ケイ 岡崎 東京には歴史系、自然史系、産業系など様々な分野の博物館や科学館、美術館が揃っているので、興味がある分野の施設が見つかると思います。新宿にある「民音音楽博物館」は、様々な展示もあり、資料も豊富ですが、実際に音も聴けるのでより興味が広がるのではないのでしょうか。ちなみにスーパーマーケットは、商品の種類や値段、お惣菜の味付けにかなり地域差が出るので、東京と各地域の違いを楽しんでみるのもいいと思います。



岡崎菜緒子
エル・ディー・アンド・ケイ
音楽事業部／ライブ制作担当

池尻大橋 和利道(わりと／つけ麺)

キョードー東京 寺腰 ラーメンが好きで、地方に行った際も地元の有名店でラーメンを食べるのを楽しみにしていますが、中目黒と池尻大橋の中間くらいにある「和利道」のつけ麺は、ぜひ食べてほしいと思います。東京は、本来は現地に行かないと食べられないようなご当地系ラーメンも食べられる場所ではありますが、僕はここのつけ麺が一番好きですね。

亀有駅近辺

キョードーファクトリー 土田 亀有は『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の舞台になった街で、街のあらゆる箇所に銅像が設置されています。こち亀記念館もオープンしました。飲食店では亀戸駅近くの「濃厚タンメンかめしげ」、「したち屋」(もつ焼き)が美味しいです。千住にある「足立市場」は一般客も入場(奇数月の第2土曜日、1月は第3土曜日)できる市場です。



土田洋彰
キョードーファクトリー
社長付



粕谷 奨
キョードー横浜
営業部／営業・現場担当



阿部 海月
スマッシュ
チケット担当他



高崎 章徳
ディスクガレージ
エンタテインメント事業ユニット／
営業



小倉 啓輔
テレビ朝日
メディアシティ戦略センター
イベントプログラミングユニット
兼 ビジネスプロデュース局
イベントプロデュースセンター／
イベントプロデュース担当

横浜 野毛の飲み屋街

キョードー横浜 粕谷 キラキラしたみなとみらい側と桜木町駅の線路を挟んで反対側のディープなエリアですが、実は美味しいお店が多いんです。ぴあアリーナMMやパシフィコ横浜からも近いです。横浜以外だと、街中にある水族館がお薦め。「アクアパーク品川」、「池袋サンシャイン水族館」、「川崎水族館」などは、場所的にもライブまでの空き時間にフラッと立ち寄れます。

浅草

サンライズプロモーション東京 根津 穴場ではないですが、東京に来たら一度は行って欲しいスポットが浅草。「浅草寺」や「雷門」で観光をして、「仲見世通り」で昔ながらのお店に寄るのが定番です。お土産でしたら、宇田川のカツサンド。トンカツとステーキの店だった「日本橋 宇田川」が日本橋蛸殻町にテイクアウト専門店として再オープン。カツの一切れが大きく、ジューシーでカツサンドに対する常識が変わるような一品です。

広尾 有栖川宮記念公園

スマッシュ 阿部 会社の近くにある公園ですが、春には桜が咲き、夏は木陰が涼しく、心のオアシスになっています。お弁当を持ってよくランチをしている場所です。渋谷の現場でよくテイクアウトしているのが、「かにチャーハンの店 渋谷店」。定番のかにチャーハンは絶品です。唐揚げも美味しいですし、味噌汁もついてくるのがうれしいですね。

新大久保

ソーゴー東京 佐々木 人気スポットの新大久保は、行って間違いないと思います。グルメだけではなく、メイク用品も揃っていて、コンサートが始まるまでの昼間に過ごすには、もってこいのエリアだと思います。夜間に過ごすなら、渋谷の「MIYASHITA PARK」、原宿の「ハラカド屋上庭園」。夜23時まで滞在でき、飲食店も同じ建物にあります。比較的静かでゆっくり座って話ができるので、ホテルに戻る前に一息つくにはいいと思います。

月島

ディスクガレージ 高崎 「月島」のように、昼からハシゴ酒ができるような街にぜひ行ってほしいです。横浜の「野毛」もそうですが、1日で回りきれないぐらいの美味しいお店があります。翌日には行ったお店を忘れているかもしれませんが、それもまた一期一会ということで（笑）。

六本木 新国立美術館

テレビ朝日 小倉 「新国立美術館」や「東京都美術館」（上野）など公営の美術館、「TOKYO NODE」（虎ノ門ヒルズ）で最先端をいくアート体験をしてほしい。そのような施設がある場所は、緑豊かな環境で、眺望が良いところも多いです。

新宿 思い出横丁

ハンズオン・エンタテインメント 若園 古くからあって、雰囲気のある飲み屋街に突撃し、フラッとお店に入ってみることが結構あるんです。若い人はあまりそういった場所に行かないかもしれませんが、大都会の中で古くから残っている飲み屋さん、入ってみると意

外と人情があって面白いです。料理も手づくりで、チェーン店とはまた違う、美味しさがあったり。地方にある、いい感じの飲み屋さんとはまた雰囲気が違うといいますが、意外な発見が多いです。

新宿 ゴールデン街

バンダイナムコミュージックライブ 高橋 地方から来られた方を案内する場合、最初は「恵比寿」で飲み始めることが多いですね。焼き鳥屋さんだと「たつや」が美味しいです。2軒目、3軒目になると新宿に流れて、「思い出横丁」や「ゴールデン街」。そのまま歩いて「新宿3丁目」に流れついて、シメるみたいなルートが、実は東京にしかない感じで、楽しんでいたいただけるんじゃないかと思います。

上野恩賜(おんし)公園

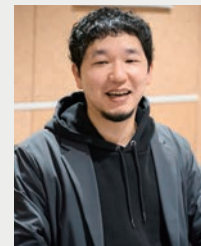
文化放送開発センター 中島 ここには「上野動物園」、「東京国立博物館」、「国立科学博物館」、「国立西洋美術館」、「上野東照宮」など1日では回りきれない程の施設・名所が集まっています。春は花見もいいですし、散歩するだけでも価値のある場所。「アメ横」に足



根津 慧人
サンライズプロモーション東京
企画制作本部／音楽公演担当



佐々木 捺緒
ソーゴー東京
票券担当



若園 治憲
ハンズオン・エンタテインメント
営業2部／コンサート・イベント
企画・制作・運営



高橋 裕太郎
バンダイナムコミュージックライブ
リーダー／
ライブクリエイティブ部 制作課



中島翔太
文化放送開発センター
企画事業部



津山一貴
ホットスタッフ・プロモーション
営業制作部



道端志帆
モストブランニング
制作部／コンサート制作



水村真菜
LuckyFM 茨城放送
LuckyFes チーフコーディネーター

を延ばす散歩もいでしょう。アメ横には「大統領」、「カドクラ」、「上野文案」、「魚草」と居酒屋も豊富です。

新宿御苑

ホットスタッフ・プロモーション 津山 僕は上京して10年経ってなくて、あまりディープなところが挙げられないのですが……定番の観光地に改めて行ってみるのもいいなと思います。都内だと「新宿御苑」が静かにリラックスできて好きです。海を見るのが好きなので、「江ノ島」も僕の感性に合いました。

江ノ島

モストブランニング 道端 定番の観光地を挙げて恐縮ですが、「新江ノ島水族館」はお薦めです。お土産では「満願堂」の芋きん。さつまいものお菓子です。本店は浅草、羽田空港店もあります。関東以外でも買えるので、

機会がある方は、ぜひ試してみてください。

茨城県水戸市

LuckyFM 茨城放送 水村 私は茨城で仕事をしているのですが、茨城では水戸の千波湖を一望できる「ときわ邸 M-GARDEN」に行っています。弊社グループ会社の茨城ロボッツが経営していますが、茨城の旬の食材やお酒を楽しみながら、笠間焼の器で食事ができるオシャレなお店です。ランチでよく行くのですが、常陸牛すじカレーやつくば鶏のコースがとても美味しいです。他にも、水戸にある居酒屋、「酒趣」（しゅしゅ／居酒屋）に行っています。ここは LuckyFes にも出店してくださっていて、「メロンまるとクリームソーダ」は名物デザートになっています。メロンが入っている緑色のカレー、「メロンカレー」もあります。

私の上京物語 東京に来て驚いたこと。 仕事と生活をする上で良い点、厳しい点、悩んだ点

※東京出身以外の方が回答

地元に戻ろうと思った時 残ろうと思い直した時

エイベックス・ライヴ・クリエイティブ 古淵 会社が麻布十番にあるので、六本木、麻布十番エリアにすることが多いのですが、ギラギラした世界だなとは思いますが（笑）。ですが、そこに憧れて上京してきたのも確かなので、刺激になるというか、楽しい日々ではありません。

モストブランニング 道端 私は大阪から上京してきました。ちょうどコロナ禍の時期で、引越してきてから1〜2ヶ月間ずっと家から出られないところからのスタートだったんです。ずっと家にいたので、最初は何も感じなかったのですが、街に出るようになって、新宿の会社に通うようになって驚きました。人の数が全然違いますし、電車の本数もすごいじゃないですか。大阪もそこそこ都会だと思っていたのですが、東京は圧倒的ですね。

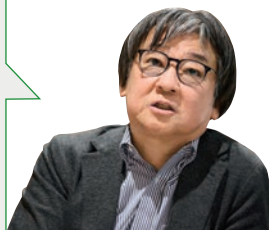
スマッシュ 阿部 地元が埼玉県川越で、今も

埼玉県に住んでいるので、あまり東京を意識する機会はないのですが、ウーバーイーツが届くのが早いことや、タクシーがすぐつかまることなどが便利だと思います。

キョードーファクトリー 土田 僕は九州の宮崎県出身で、大学入学で東京に出てきました。最初に驚いたのが、東京ドームです。野球もコンサートも好きなので、ゲートに入って球場のグラウンドが見えた瞬間、その迫力に感動しました。それと僕が住んでいるのは江戸川区で、近所に大学の友達がいなかったの、大学生の時から1人で居酒屋に入って飲んでいました。下町のお店だとお客さん同士のつながりがあるんですよ。10年来的友達とそこで出会いました。

バンダイナムコミュージックライブ 高橋 秋田から上京して、最初に東京らしいと思ったのは、原宿の竹下通りですね。あの人の多さだったり、秋田では通販でしか買えなかったような服が、普通にお店に置かれていることに驚きました。裏原宿ブームの世代なので、すごく感動したのを憶えています。それと先程、土田さんがおっしゃられた東京ドー

伊神のひと言



東京には全国から色々な美味しいものが集まってきます。名古屋は三河湾と伊勢湾が入り組んでいて、木曽川、長良川、揖斐川、木曽三川もあるので、いい魚が揚げられますが、東京へ優先的に出荷されるそうです。すべてが集まる街・東京は間違いなくグルメ天国なのですが、一方で「名物って何？」と聞かれると、意外と決定的な「コレ」というものが思いつかなかったりします。観光地も関東全体でたくさんありすぎて、代表的な名所を決めきれない面があります。だからこそ今回、関東の会員社の皆さんから様々な観光地やお店を聞いて、本当に参考になりました。

ムに初めて仕事で行った時に、あまりの広さに歩き疲れてしまい、この職業をやっているか不安になりました（笑）。

素材を活かす地元 手をかける東京

文化放送開発センター 中島 地元の広島県尾道は21時になったらバスがないんですよ、駅前でも（笑）。電車も日中で30分に1本とかなので、夜になったら真っ暗な帰り道を自転車です。街灯を頼りに歩くこともあります。東京では深夜になっても電気がついているし、ヘビやマムシやイノシシも出てこないし。瀬戸内海の家ではイノシシが泳いでいることがありますから、そういう心配がない東京はいいなと（笑）。それと尾道は瀬戸内海なので、魚が有名なのですが、素材の美味しさだけで勝負しようとして、逆に工夫しないんですよ。だからというわけではないのですが、尾道はお寿司屋さんがほとんどないんです。回転寿司はあるんですけど、東京の江戸前寿司のように、ちゃんと手をかけているお寿司屋さんがないんです。瀬戸内海の素材で東京のお寿司

屋さんがつくるお店が尾道にできたら、めちゃくちゃ儲かるんじゃないかと思います（笑）。

LuckyFM 茨城放送 水村 出身は埼玉の入間市ですが、社会人になってから東京に出てきて、今は茨城で仕事をしています。東京には移り変わりが激しい、流行りものがたくさんあるという印象を持っていて、だからこそ東京に消費されてしまう怖さもあるんですけど、自分が流行りものばかりを追いかけていると、アイデンティティが育っていかないんじゃないかなと考えていましたね。ホットスタッフ・プロモーション 津山 僕は大阪出身ですが、仕事をする上で一番いい場所が東京だと思っています。多くのアーティストの本拠地で、ほとんどのマネジメントが東京にあるわけで、環境的にはやはりベストなんだろうなと。ただし、暮らしていくのには息苦しい場所ではありますね。今は会社から歩いて通えるくらいのところに住んでいるのですが、朝起きて、メールを見て、家を出て、仕事が終わったら家に帰って、寝て、起きたらまた現場へ行って……の繰り返しになってしまいますから。仕事に励むためにも、家は東京ではない千

葉や埼玉、神奈川に引っ越したいなと思っています。入社してもうすぐ9年目になるのですが、仕事とプライベートは分けて考えたほうがいいのかなと最近は思っています。

楽しみを広げる情報 街を照らす灯り

テレビ朝日 小倉 僕の実家は横浜なのですが、東京と同じように、いわゆる名物というものが思い当たりませんね。崎陽軒のシウマイと中華街くらいでしょうか。結局のところ競争相手が多いが故に、洗練された、先端的なものが集まってくるんじゃないでしょうか。エンタメも食も。それは選択肢がたくさんあるということで、例えばメディアで調べた場所にすぐ行けるわけです。東京の情報は全国ネットの地上波だけでなく、BSの番組でも知ることができますからね。テレビ朝日にも、もちろん色々な番組がありますが、例えば僕も飯島直子さんの飲み歩き、食べ歩きの番組『今夜一杯いっちゃう？』（BS フジ）という番組で知った

お店に行ったりします。食べ物だけではなくて、ストーリー性が頭の中に入ってくるので、楽しみ方が広がりますよね。

ソーゴー東京 佐々木 私は岩手から出てきました。地元がかなりの田舎で、星空がとてもきれに見えるんです。東京にはそんな星空がないんですけど、その代わり渋谷へ行くと街灯やビルから漏れる光がたくさんあります。私はそれもすごく好きなんです。渋谷や銀座でアルバイトをしていた頃から、土日の夜にビルから光が見えると、残業なのかなと思いつつも、そんな光もきれいに感じるんです。

ディスクガレージ 高崎 僕は大学で東京に行こうと高校生の時から決めていました。三重から出てきて12年経ちますが、東京はとにかく欲しいものがすぐ手に入りやすい場所です。そこに身を置けるのが東京で暮らす良さですよ。でも、常に身を置いていると疲れてくるので、今、住んでいるのは神奈川県。電車で20分という距離感で、東京の良いところ悪いところの間でバランスをとって生活したいと思っています。

打ち上げフリートーク



打ち上げ会場は、恵比寿駅そばの「でですけ」。伊神副会長の乾杯とともに宴は始まり、横山和司常務理事、田山順一常務理事、事務局メンバーとともに各テーブルでフリートーク。「各地の会場では地元の名産をケータリングすると、アーティストの皆さんが喜んでくれるが、東京の会場だと何を手配しても、なかなか美味しいと言っていない」「ツアー中の各地の公演ではアーティストとプロモーターの距離がグッと近づくが、東京では難しい」といった本音も聞こえてきました。

伊神のひと言

東京にはもともと東京ネイティブの人は少なく、色々な地域出身の方が集まっています。関東のプロモーターの皆さんも「上京組」が多いでしょう。上京するタイミングは人それぞれですが、学校への入学や卒業、就職など、人生のターニングポイントと重なる場合が多いと思います。東京での生活は、迷ったり、悩んだりすることもたくさんあるはずです。皆さんから聞いた「上京物語」には本当にリアリティがありましたし、公演数の東京近郊集中や若者の人口流入といった大きな問題を考えるきっかけにもなったと思います。

全国会員社 担当業務別ミーティング デスク業務担当者座談会

収録日: 2025年4月8日

毎号、全国会員社で同じ業務を担当する皆さんをオンラインで結んでいる座談会。今号はデスク業務担当の皆さんに参加いただきました。票券から宿泊手配まで、幅広い仕事を手がける4名の方のリアルな声をお届けします。また座談会には、オブザーバーとしてACPCの田山順一常務理事も加わりました。



門目彩香

エドワードライブエンターテインメント (東北)
2015年入社、2023年再入社



山口麻衣

キャピタルヴィレッジ (東京)
2023年入社



渡邊晶子

クリエイティブプロダクション (東京)
2018年入社



土佐麻由子

デューク (四国) 高松オフィス
2009年入社

チケット業務と宿泊の手配

—— 入社してから担当してきたお仕事と、現在どんな業務をされているかを詳しくお伺いしたいと思います。

門目 2015年に専門学校を卒業して、新卒採用で入社しました。家庭の事情で2021年に一度退社したのですが、お声がけをいただいて2023年に再入社しました。

最初に入社した時は主にチケット業務を担当していて、公演担当の方に手伝ってもらいながら、弊社の全公演のチケットを扱っていました。再入社後も同じくチケット業務なのですが、加えて宿泊の手配なども手がけるようになりました。

山口 私は2023年3月に中後入社しまして、当初からチケット業務とそれに関わる弊社の公式サイトへの更新、アーティストごとの

DM 発送業務などを先輩と2人体制で担当しています。仕事の流れを説明すると、最初に制作担当から新規公演の手配の依頼がきて、相談しながら先行スケジュールを確認し、一般発売に向けて準備を進める感じです。前職が弊社の取引先のプレイガイド、そこで票券の仕事をしていまして、キャピタルヴィレッジの公演が好きだなと思うところがあって、デスクの求人に応募しました。
渡邊 2018年に入社しまして、ずっと邦楽部のデスクを担当しております。ツアー全体を担当する制作デスク、関東エリアのみを担当するプロモーターデスクを行う場合の2軸があり、具体的な業務は移動や宿泊の手配、公演概要書の作成、公演担当者のバックアップなどを行っています。ツアー全体と関東公演、デスクとしてやらなくてはいけない業務はほぼ同じですが、やり取りする量が変わってきますね。今は業務の幅が少し広がりまして、SUMMER SONICの映像収録も担当しています。
土佐 2009年入社で、入社後はまず宿泊を担当していましたが、その後、票券や会場申請など色々な仕事を行うようになりました。弊社は4班に分かれた班体制になっ

ていて、制作担当が各班に3人ずつ、デスクは1人か2人配属されています。基本的に私は自分がある班の公演のデスク業務全般を担当しています。

電子対応と仕事の優先順位

—— デスク業務の特に難しい点がありましたら教えてください。

門目 最近はコロナ禍も落ち着いて公演も増えてきたと思いますが、コロナ以降、電子チケットが増えてきました。それがちょうど一旦辞めて、戻ってきたタイミングだったので、より「変わったな」と感じたのかもしれません。電子チケットが増えると、チケットの発券が発売日から開始されるのではなく、公演直前になりますよね。配券の時に完売している公演だと正確に席割りができるかどうか不安になりますし、電子チケットの設定もプレイガイドによって違いがあるので、そこに対応するのが大変だなと思いました。

山口 門目さんがおっしゃったように、コロナ禍以降、インターネットやスマホでの販売方法が複雑化していると感じます。電子チケットも増えていますが、弊社のお客



門目さんが勤めるエドワードライブエンターテインメントが主催したイベント「GOOD FLAGS」(宮城県仙台市・仙台PIT / 2024年3月17日)



山口さんが勤めるキャピタルヴィレッジが関わったフリーコンサート「PEACEFUL EASY FEELING Free Concert at Chigasaki Beach」(神奈川県茅ヶ崎市・茅ヶ崎ヘッドランドビーチ/2024年5月5日)

様は年齢層が高い方が多いので、電話でお問い合わせをいただくと「インターネットが使えない」「申し訳ありませんが、先行販売はインターネットでしか受け付けておりませんので……」といったやり取りが多くなってしまいます。「電子チケットを選択してしまったけど、どうしていいかわからない」などの声も寄せられます。電話だけではなく、メールの問い合わせフォームもあって、時々お問い合わせも入ってくるのですが、本当にケースバイケースで、メールより電話のほうが伝えやすい場合もありますし、逆に電話より文章で説明したほうが良いという時もあります。

渡邊 弊社は票券担当者が別におりますので私は宿泊の話になるのですが、この数年で宿泊料は顕著に上がりました。最初は何千円レベルで上がっていたものが、いつの間にか2倍になっているホテルもあるので、自ずとホテルのランクを下げたり、会場からの距離が遠いところを選んだりしてはいけない例が出ています。やはりインバウンドの影響が大きく、外国人観光客向けの旅行会社がかなりの数を押さえてしまっ

ているので、中国の国慶節の時などは本当に早めに動かないと希望する部屋数が取れなかったりします。同じ公演のアーティスト、スタッフの皆さんをいくつかのホテルに分けて提案しなくてはいけないケースも出てきます。

土佐 票券に関しては、私も普段から皆さんがおっしゃってくださったことを考えています。日々の仕事では色々なことが同時進行しているので、入社当時は優先順位をつけられなくて難しさを感じていました。今は私以外に関係している人が多い仕事、自分の次に誰かがやらなくてはいけない範囲が広いものを優先して進めています。自分だけで完結するものは後回しにして、最後に行きます。皆さんそれぞれ基準はあると思いますが、私の場合はそう考えています。

改善点の根本にあるもの

—— 逆にやりがいを感じられる点は、どんなところでしょうか。

門目 アリーナの公演だと現場に出るのですが、アリーナの配券作業は、通常のホールやライブハウスの公演と比べると格段に

大変なので、実際に現場に足を運んで、全席埋まっている様子やお客様の楽しんでいる表情を見ると、本当に良かったなとやりがいを感じますね。

山口 私も当日券や関係者受付の業務で現場に行くことがあるのですが、販売が落ち着いた時に会場で公演を観ると、これだけチケットが売れたんだとやりがいを感じますし、逆にこんなにいい公演なのだから、もっと売りたかったと思う時もあります。

渡邊 難しくなっている宿泊の押さえや、その他のリクエストをクリアできた時は単純にうれしいですね。もう一つ、若い営業担当者の手がける公演の規模が少しずつ大きくなっていて、安全に公演が終えられるようになった過程を見ると、グッとくるものがあるって「サポートできて良かったな」と思います。

土佐 MONSTER baSH を初めて担当させてもらって、全ステージが終わった時に、自分に自信が持てたといいますか、デスクとしてもやり切ったと思いました。コロナ禍で開催の数日前に中止になったことがあったのですが、会社全体が本当に苦しんだ後、クラウドファンディングを立ち上げ

たら、思った以上の反響が届いて……こんなに応援して下さる方がいるのだと、とても力になりましたね。

—— ご自分のお仕事、あるいは業界全体の改善点、改善策を挙げるとするならば、どういったことになりますか。

門目 高額転売対策のために電子チケットが導入されたと思いますが、宮城のセキスイハイムスーパーアリーナは立地的に電波が遮断されるエリアがあるため、電子チケットの表示がしづらんです。そういったことから、私は個人的に紙チケットのほうが良いなと思っていて、不正な転売がなくなれば良いと考えています。もちろん電子チケットのいいところもあるとは思いますが、細かい設定がどうしても多くなってしまっているので改善点が多いですね。

山口 少人数で業務を回している会社ですと、どうしても社員それぞれの負担が大きくなってしまいますよね。例えば現場担当者を見ていると、とても忙しいので、デスクの私達も何か手伝えることはないかなと思います。やっぱり現場担当者がアーティスト側と直接やり取りしたほうが進めやすいとか、そういった兼ね合いが難しい



渡邊さんが勤めるクリエイティブマンプロダクションが企画・制作した「SUMMER SONIC 2024」(千葉県千葉市・ZOZOマリンスタジアム他/2024年8月17日、18日)



土佐さんが勤めるデュークが主催・企画・制作した「MONSTER baSH 2024」(香川県仲多度郡・国営讃岐まんのう公園／2024年8月24日、25日)

など感じています。

渡邊 皆さんのお話の中にもありましたが、スケジュールなど大枠のものが公演担当から下りてこない、動けないのがデスク業務だというのが問題点なんだと感じます。とはいえ、今はメールでもLINEでも、各公演担当者とのやり取りは比較的スムーズといえますか、それ程タイムラグがない形で進行はできていると思うんです。きっと大もとを辿っていくと、会場がなかなか押さえられない、人員の問題などもありスケジュールを出したくても共有しようがないところが一番の改善点なのでしょう。

土佐 内勤の仕事だと、メールや電話でしかやり取りしたことがない方ばかりなので、個人的にはもっとネットワークを広げたいと思っています。こういったACPCの取材の機会ですとか、研修会で実際にお会いできると仕事のやりやすさも変わると思うんです。情報を共有して、意見交換ができる場があれば。実は渡邊さんとは仕事でやり取りをさせていただいたことがあるので、今日はお話できるのを楽しみにしていました(笑)。

田山常務理事 本日参加の皆さんは技術だけではなく、仕事に対しての心構えや気持ちがとても素敵です。プロモーターの仕事は裏方の裏方であることも多いですが、デスクはさらにそれらを支えている立場です。地道な業務も多い日常ですが、自分達がいないとコンサートは開催できないのだ、というくらいの誇りと自信を持ってください。デスクという業務が確立されていない頃、公演担当は細かい部分まで自分でやっていました。現在は分業化が進み、公演担当者には最初からデスクありきで仕事をしている人も多いでしょう。皆さんのこれからの役割として、若い社員を甘やかすことなく、仕事の基本を教えることを、どうかがんばってください。ACPCの研修会やセミナーでは、内勤の方々に向けてのテーマも設定し、仕事の役に立ててもらえるようにしています。社内では自分と同じ立場は少数しかいないでしょうが、全国には同様の仕事をし、同じ悩みを抱えている仲間がいます。そうした全国の仲間と交流し、日々迷ったときでも全国に自分と同じ仲間がいるのだ、と励みにしてください。

帰ってきた

TALKING BLUES

Vol. 39

文：鏡 孝彦 ACPC 専務理事
(グリーンズコーポレーション代表取締役社長)



桜満開、応援したい

はい！こちら桜満開です。新年度のスタートです。新しい生活が始まった方も多くいらっしゃると思います。皆さん、自己実現を目指して進んでいただければと思います。

そしてこの号が出る頃には、大阪・関西万博が、スタートしている筈です。多くのお客様が、来場されていることを望むばかりです。そして今月開催されるのが、「MUSIC AWARDS JAPAN」。本号で詳しく触れられていると思いますので、詳細は割愛しますが、「SYMBOL OF MUSIC AWARDS JAPAN 2025」にYELLOW MAGIC ORCHESTRA (YMO) が、決定しました。YMOが、海外に進出した頃もそれなりの数のアーティストの皆様が、海外進出していましたが、今は、それよりも多くの方達が海外に出向き、また、SNS等を通じて楽曲も多く知られるようになりました。MAJは、日本の才能あるアーティストや楽曲の素晴らしさをより多くの人々や国々に発信していくものになると思っております。引き続き、是非！ご協力

&ご注目下さい。

注目といえば、「GLION ARENA KOBE」です。待ちに待った関西でのアリーナの開業です。TOTTEI PARKというイベントも出来るスペースも備えています。本号がお手元に届く頃には、いくつかのコンサートが実施されていますので、色々な話が飛び交っていると思われますが、応援して下さい。

応援といえば、先日、「Grooving Night」に行っていました。「誰もが安心して楽しめるエンターテインメント」というテーマの元、視聴覚障害鑑賞のサポートの実施や様々な社会問題に取り組む活動について知ることができるブースもありました。進化していましたよ～メガネ型ディスプレイとか。視聴覚障害の人達も手を上げたり、身体を揺らしたり、後ろから見ても楽しんではるのが、伝わってきました。読売テレビさん、キョードー関西さん、素敵なおイベントをありがとうございます。

事務局の田村さん、て事で、今回は、お披露楽喜です、ほな～しゃいなら～。

ECSA Lounge

新設スタジアム・アリーナ関連の事項を中心にECSAより活動報告

活動報告

2024年度 活動報告

- 3月末で2024年度・第6期が終了。2024年度は昨年度に引き続き、業務委託契約締結先の施設建設に関するコンサルティング事業を中心に、セミナー登壇、スポーツ庁による、スタジアム・アリーナ改革ガイドブック検討会への参加、視察会等の事業を実施。会員社は全10社となりました。
- 昨年度より注力するコンサルティング事業に関しては、立地・施設規模等の総合的な観点から、スポーツ・エンタテインメント利用の高い需要が見込まれる新設施設を対象とすることを明確にし、後世に残る“真に使われる”持続可能な施設の実現に向け、資材費高騰・人手不足等の昨今のコスト増要因を踏まえ、施設の仕様から年間の稼働率向上まで、包括的なコンサルティング業務を行っています。

2025年度 事業計画

2025年度注力事業

- ① 業務委託契約先とのプロジェクトに引き続き注力。有識者によるワーキンググループを体制化する
- ② 真に必要とされる、後世に残すべき施設に注力し、業務委託先の拡大を図る
- ③ エンタテインメント・スポーツ界の情報交流をより潤滑にする

1. スタジアム・アリーナ新設計画におけるコンサルティング事業の拡張

- * 新規受託先として、立地・規模等から、エンタテインメント需要の高い新規建設予定施設への参入、積極的に参入を行う
- * 業務委託契約先企業と、複数案件において長期連携を図る（株式会社DeNA、株式会社東京ドーム）
- * 施設新設計画時の、ヒアリング窓口としての地位確立（スポーツ庁との継続的連携）
- * その他、諸建設計画や都市開発等機会への参画

2. スタジアム・アリーナに関する基礎情報・知見の集約

- * 業務委託先への提供へ向けたデータ集約（業界動向、アリーナの公演数や稼働率等の情報集約）
- * 施設の稼働率増へ向けた、スポーツ・コンサート以外のコンテンツ事例の集約、及び関係団体との連携
- * 新設施設情報を集約。立地や施設規模等の条件から、総合的な視点で高い需要が見込まれる施設へのアプローチを絞る

3. ネットワーキング事業

- * Salon de ECSA（独自セミナー）
- 特にエンタテインメント市場の業界動向・知見をスポーツ界側へ共有する機会を強化するための独自セミナーを定期開催予定

4. 広報事業を通じた情報発信及びプレゼンスの強化

- * ビジネスセミナーへの登壇（ライブ・エンタテインメントEXPO他）
- * コンサートプロモーターズ協会 会報誌「A.C.P.C.navi」内連載コーナー（“ECSA Lounge”）での情報発信
- * その他（調査事業、共催セミナーへの参画等）

- 第7期となる2025年度は、コンサルティング事業に付随するデータの集積、及び新設施設の情報収集を元に、指針に合う施設との業務提携を進めることに尽力、更にスポーツ界とエンタテインメント界の情報共有・交流機会をセミナー等を通じて企画していきます。

ECSA REPORT

中国 四国最大級アリーナ『あなぶきアリーナ香川』開業！

- 2025年2月24日、中国四国最大級のアリーナである『あなぶきアリーナ香川』がいよいよ開業いたしました。本アリーナはACPC正会員社であるデューク、ハンズオン・エンタテインメントが指定管理として関わっています。

- 開業のご挨拶が届いておりますのでご紹介させていただきます。

四国最大級“あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）”が本年2月24日開館し、3月1日2日のサザンオールスターズによるこけら落としで本格稼働となりました。川淵三郎ECSA会長にスペシャルアンバサダーを務めて頂き、アーティスト、スタッフから愛され選ばれるアリーナを目指しております。

最大収容人数1万人のメインアリーナは、コンクリート床により搬入車両の構内乗入可能なコンサート実施会場として十分な機能を有しており、物販会場として利用可能なサブアリーナ、そして武道施設を備え、民間施設に比べリーズナブルな利用料を設定しております。

JR高松駅から徒歩4分のサンポートという香川の中心に位置し公共交通機関を利用したアクセスも良好で、2027年にはマンダリンホテルが開業予定。現在、2029年3月までのご予約を受け付けておりますので、是非、アリーナツアーの四国公演を検討頂き、当アリーナをご利用頂ければ幸いです。

株式会社ハンズオン・エンタテインメント代表取締役会長 菊地哲栄

あなぶきアリーナ香川は、建築家ユニットSANAAによって設計され、瀬戸内海に浮かぶ島々をイメージした建築美と機能性を備えた施設になります。当アリーナは交通アクセスに大変優れており、四国全域、さらには中国・関西エリアからの来場者にとって大きな魅力です。この立地を最大限に活かし、多くの方々が集い、感動を共有出来る場所として発展させてまいります。

私たち四国を拠点とするプロモーターとして、このアリーナが四国全体のエンターテインメントのハブとして位置付け、香川だけでなく、四国全体の魅力発信に繋がたいと考えております。地域に愛され、全国から注目されるアリーナを目指し、指定管理の一員として、運営とサービスに関わってまいります。今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社デューク代表取締役社長 玉乃井欣樹



ECSAに関する
お問合せはこちらより
※ ECSA 事務局



ACPC 基礎調査、2024年集計結果報告

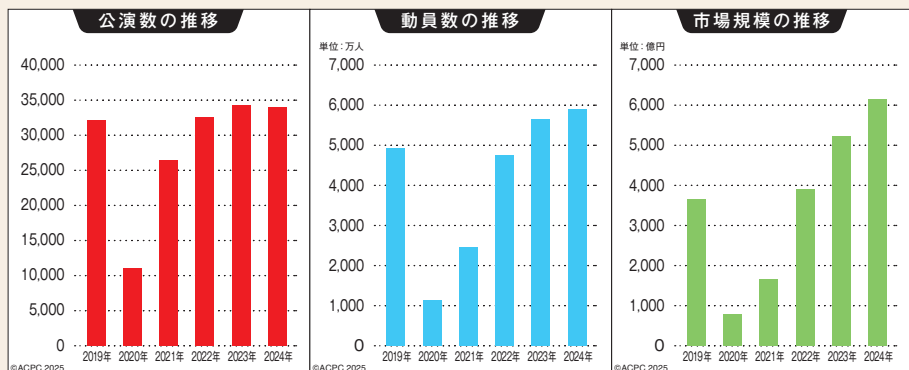
市場規模は過去最大の6121.6億円に

ACPCでは全国の正会員社を対象に、ライブ・エンタテインメント市場の調査を実施しています。この調査報告は1989年より始まり、コンサートプロモーターの事業活動およびライブ市場の動向をデータ化した国内唯一の資料として、調査を重ねて参りました。このたび、2024年分の調査データを発表いたしました。調査にご協力下さった会員の皆様に御礼申し上げます。

2024年の公演数は前年と同水準で推移しましたが、動員数はスタジアム・アリーナ公演の増加に伴って6000万人に迫り、過去最多となりました。2024年の市場規模（総売上額）は、前年の5140.0億円から6121.6億円に増加して過去最大を記録しています。

《基礎調査サマリー》

項目	数 値	前年からの増減	前年比	2019年同期比
会員社数	78	2 増	—	13 増 4 減
総公演数	34,251	-294	99.1%	107.4%
総動員数	59,389,784	+ 3,063,624	105.4%	119.9%
総売上額	6121 億 6642 万円	+ 981 億 5870 万円	119.1%	167.0%



《2024年の市場概況》

■ エリア別の動向

各エリアにおける公演数は前年と同水準で推移しましたが、市場規模（総売上額）は2020年以降にアリーナ6会場が新設された関東、そして近畿の2エリアで増加傾向が進むなど、エリアによって差異が生じており、コロナ禍からの全国的な市場の回復には至っていません。コロナ禍以降、どのエリアでも中核都市に公演が集中し、それ以外のローカルな公演が増えづらい状況が続いています。

■ 会場規模別の動向

関東圏の新設アリーナ6会場で約640公演が開催されたこともあり、アリーナの公演数(2,679)は前年比124.5%、動員数(2189.8万人)は前年比131.2%と拡大が続いています。スタジアムやライブハウスの動員数も増加する一方、ホールの動員数(1621.9万人)は前年比89.1%に留まりました。これはホールの区分で大型といえる2,000人規模の会場の減少が一因と見られます。

野外会場は公演数(346)が前年比70.2%、動員数(237.0万人)が前年比90.6%となり、その要因として猛暑による屋内公演へのシフトや、自然災害による公演中止が考えられます。

■ 招聘公演の動向

大規模会場での海外アーティスト公演が多数開催されました。特にスタジアム公演の動員数(401.5万人)は前年比137.7%と大きく増加し、アリーナ公演の動員数(321.2万人)も前年比106.8%でした。K-Popアーティストの市場規模（総売上額）が前年の668.4億から844.3億円へ拡大し、チケット平均単価も前年の¥13,080から¥14,593に上昇しています。

2024年の海外アーティスト公演 ※複数アーティスト出演イベント含む

公演数：2,207 (シェア6.4%)
動員数：926.9万人 (シェア15.6%)
市場規模：1335.0億円 (シェア21.8%)
チケット平均単価：¥14,402 (海外アーティスト以外の公演の平均単価：¥9,550)

上記のうち、K-Popアーティストによる公演 ※複数アーティスト出演イベント含む

公演数：823 (シェア2.4%)
動員数：578.6万人 (シェア9.7%)
市場規模：844.3億円 (シェア13.8%)
チケット平均単価：¥14,593 (K-Pop以外の公演の平均単価：¥9,845)

▶ カスタマーハラスメント対策セミナー実施報告

ACPCでは2024年11月の人材育成研修会(本誌54号に掲載)に続き、2025年2月・3月に「カスタマーハラスメント対策セミナー」を開催いたしました。

東京・名古屋・大阪の3都市及びオンラインにて実施し、「苦情対応」・「カスタマーハラスメント対応」・「障がい者対応」の3部構成で、対面会場では講義に加えてグループディスカッションも行い、参加者同士の意見交換の場にもなりました。

全7回の実施を通して、905名もの多くの方さまにご参加いただきました。誠にありがとうございました。

開催地・日程

- 大 阪：2月26日(水) グランキューブ大阪(1日2回開催)
- 名古屋：2月27日(木) DIAMOND HALL
- 東 京：3月17日(月) The Garden Room(1日2回開催)
- オンライン①：3月13日(木)
- オンライン②：3月26日(水)



カスタマーハラスメント対策セミナーの様子。グランキューブ大阪にて



同DIAMOND HALLにて



同The Garden Roomにて

▶ 新規加盟社紹介

■ 正会員

2025年4月入会 (株) iTONY ENTERTAINMENT

■ 賛助会員

2025年4月入会 (株) エフエム長崎

※ 2025年5月時点の会員数は正会員79社、賛助会員135社です。

▶ コンサートプロモーターズ協会 正会員一覧

北海道

(株) ウェス / (株) キョードー札幌 / (株) 道新文化事業社 /
(株) トラスト企画クリエイト / (株) マウントアライブ / (株) ミュージックファン

東北

(株) エドワードライブエンターテインメント / (株) キョードー東北 /
(株) ギルドネクスト / (株) ジー・アイ・ピー / (株) ノースロード・ミュージック

関東

(株) アイエス / (株) iTONY ENTERTAINMENT / (株) アリノワ. / (有) ヴィンテージロック /
(株) ウード音楽事務所 / (株) エアフラッグ / エイベックス・ライブ・クリエイティヴ(株) /
(株) エニー / (株) エル・ディー・アンド・ケイ / (株) オデッセー / オフィス・ゲンキ (株) /
(株) キャピタルヴィレッジ / (株) キョードー東京 / (株) キョードーファクトリー /
(株) キョードープロデューサーズ / (株) キョードー横浜 / (株) クリエイティブマンプロダクション /
(株) グリーンルーム / (株) サンライズプロモーション東京 / (株) スペースシャワーネットワーク /
(株) スマッシュ / 全栄企画(株) / (株) ソーゴ東京 / (株) チッターワークス / (株) ディスクガレージ /
(株) テレビ朝日 / (株) ネクストロード・プロダクション / (株) バックスステージプロジェクト /
(株) ハヤシインターナショナルプロモーションズ(HIP) / (株) ハンズオン・エンタテインメント /
(株) バンダイナムコミュージックライブ / (株) フジテレビジョン / (株) プロマックス /
(株) 文化放送開発センター / (株) ホットスタッフ・プロモーション / (株) ポニーキャニオン /
(株) ミュージックリーグ / (株) モストプランニング / (株) ヤング・コミュニケーション / (株) ライブエグザム /
Live Nation Japan(同) / (株) LIVE FORWARD / ライブマスターズ(株) / (株) Lucky FM 茨城放送

北陸・甲信越

(有) エフ・オー・ビー企画 / (株) キョードー北陸 / (株) サウンド・ソニック / (株) スーパーキャスト

中部

(株) キョードー東海 / (株) サンダーフォークプロモーション / (株) ジェイルハウス

関西

(株) 梅田芸術劇場 / (株) キョードー大阪 / (株) グリーنزコーポレーション /
(株) サウンドクリエイター / (株) 清水音泉 / (株) ソーゴ大阪 /
(株) ナウ ウェスト ワン / (株) 阪神コンテンツリンク / (株) ベージ・ワン

中国・四国

(株) キャンディープロモーション / (株) デューク / (株) ユニオン音楽事務所 / (株) 夢番地

九州・沖縄

(株) GAKUON ユニティ・フェイス / (株) キョードー西日本 /
(株) ピーエムエージェンシー / (株) ビッグイヤーアーツ(BEA)

A.C.P.C. navi Vol.55 2025年5月発行

発行人：中西健夫 / 編集人：田山順一 / 編集：鬼頭隆生、田村華奈子 / デザイン：嘉手川里恵 / 取材・構成：君塚太
発行所：一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-21-18 恵比寿南ビル
TEL.03-5768-1731 FAX.03-5768-1732